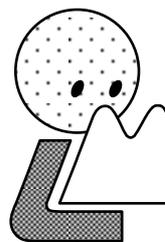


絵本の世界へ①

～赤ちゃんのために～

大阪市立図書館 2009



いないいないばあ 松谷みよ子著 瀬川康男絵 童心社 22cm 17p 0000229912

ネコの次はクマが、「いないいないばあ」と顔をみせてくれます。次々に現れる動物たちの後は、のんちゃんの「いないいないばあ」で終わります。赤ちゃんと一緒に遊びながら楽しめます。

いぬ ジョン・バーニンガム著・絵 谷川俊太郎訳 富山房 17cm 18p 0000296477

男の子と預かった犬の1日のお話です。やんちゃな犬のいたずらにふりまわされながらも、「ともだち」と過ごす楽しい気持ちがよく描かれています。最後に帰っていく犬を見送りながら「ずっといっしょにいたいなあ」とつぶやく男の子の後ろ姿が印象的です。

いやだいやだ せな けいこ著・絵 福音館書店 17cm 24p 0000214163

ルルちゃんは、手と足を広げて怒って、なんでもすぐに「いやだいやだ」と言います。「それなら かあさんも いやだって いうわ」反抗期の幼児の姿をリズムカルな口調で、ユーモラスに描きます。ほのぼのとしたちぎり絵が魅力的です。

おててがでたよ 林 明子著・絵 福音館書店 19cm 20p 0000186808

赤ちゃんが、大きな服を頭からすっぽりかぶっています。「あれ あれ あれ なんにもみえない おててはどこかな」「おててがでたよ」やっと左手が出てきました。今度は、頭が出て足が出るまでの姿にっこりさせられます。赤ちゃんの仕草や愛くるしい表情を、見事に描いています。



おやすみなさいのほん マーガレット・ワイズ・ブラウン著

ジャン・シャロー絵 いしい ももこ訳 福音館書店 25cm 32p 0000226266

夜になり、小鳥や魚や動物たちは眠りにつきます。ほの暗い色合いの絵とゆったりと繰り返される「ねむたいはちたち」「ねむたいりすたち」といった言葉が、赤ちゃんを眠りに誘います。おやすみの前の読み聞かせにぴったりです。

がたんごとんがたんごとん 安西水丸著・絵 福音館書店 19cm 20p 0000226097

「のせてくださいーい」小さな汽車に、哺乳瓶やカップなどが次々と乗り込んできます。終点で降りたところは、こどもの待つテーブルでした。色や形のはっきりとした絵は赤ちゃんの目にもわかりやすく、リズムカルに繰り返す汽車の音は耳にやさしくなじみます。

くだもの 平山和子著・絵 福音館書店 22cm 23p 0000229846

スイカやモモといった果物の絵と、それを食べやすく切ったりむいたりして「さあどうぞ」とさしだされる絵が繰り返し出てきます。鮮やかな色あいで描かれたみずみずしい果物はとてもおいしそうで、思わず赤ちゃんの手がのびます。

くっついた 三浦太郎著・絵 こぐま社 18×19cm 24p 0011042637

ページをめくるたびに、2匹の動物や魚がくっつきます。最後は赤ちゃんが、お父さんお母さんとほっぺをくっつけます。「くっついた」という言葉の繰り返しが楽しく、赤ちゃんに触れあった時の幸せな気持ちが伝わってきます。

こぐまちゃんおはよう わかやま けん他著・絵 こぐま社 20×22cm 22p 0000141835

こぐまちゃんは、じぶんで顔を洗って朝ごはんもいっぱい食べます。金魚にも朝ごはんをやっておもちゃで遊びます。こぐまちゃんの1日の生活を、平明な色使いの絵で楽しくリズムカルに描いています。



ことり 中川ひろたか著 平田利之絵 金の星社 18cm 25p 0011497362

黄色い画面に青い小鳥が1羽、2羽と集まり、パズルのように組み合わせられていきます。そこへ黒いネコがそろりそろりと近づくと、小鳥たちは別の形をつくりだします。鮮やかな色のコントラストと小鳥たちの動きが、赤ちゃんも大人も楽しませてくれます。

ぞうさん まど みちお詩 なかがわ りえこ選 なかがわ そうや絵 福音館書店 22cm 23p 0070007681

「ぞうさん」や「やぎさん ゆうびん」など、よく知られた12の詩に、素朴で優しい絵を合わせています。声に出して読むとこちよく、歌うことができるよう楽譜ものっています。赤ちゃんと一緒に楽しむことができます。

でんしゃ バイロン・パートン著・絵 こじま まもる訳 金の星社 16×19cm 33p 0000264509

電車はお客さんをのせて、いろいろな電車とすれ違いながら、山や町を抜けて走っていきます。はっきりした線で描いた絵は、まるでおもちゃの電車を見ているような楽しさがあります。

どうすればいいのかな？ わたなべ しげお著 おおとも やすお絵 福音館書店 22cm 23p 0000226352

「どうすればいいのかな？」シャツや靴を手にくまくんは考えます。そうそう、シャツは着るもの、靴ははくものですね。ちゃんと一人で着替えて、くまくんはでかけていきます。

どうぶつのおやこ 藪内正幸著・絵 福音館書店 19×25cm 16p 0000279190

ウサギやゾウ、ライオンなどいろいろな動物の親子が登場する、字のない絵本です。細部まで丁寧に描かれているだけでなく、豊かな表情や親子の間にある愛情も表現されています。一緒に見ながら、赤ちゃんにたくさん語りかけてあげてください。

ねこがいっぱい グレース・スカール著・絵 やぶき みちこ訳 福音館書店 19cm 20p 0000186782

大きいネコ、小さなネコ、太ったネコたちがテンポよくあらわれます。最後にネコが集合して「みんないっしょににゃお」は、親子で楽しめます。絵もシンプルで、のびのびと丁寧に描かれています。

ぴよーん まつおか たつひで著・絵 ポプラ社 16cm 37p 0000809948

かえるが、ぴよーん。こねこが、ぴよーん。いろいろな生き物たちが、次々にぴよーんととびあがります。ページをめくるたびに、「ぴよーん」という言葉と、きれいな色で描かれた生き生きと動きのある絵が、赤ちゃんの興味をひきつけます。

ぶたためききつねねこ 馬場のぼる著・絵 こぐま社 19cm 40p 0000271125

朝「おひさま」が「まど」や「どあ」を照らすと家の中から「あほうどり」が出てきて、しりとりが続いていきます。しりとり遊びの本ですが、しりとの絵を追っていくと楽しいお話にもなっています。

みる ヘレン・オクセンバリー著・絵 かわばた つよし訳 童話館出版 14cm 12p 0000503090

チョウ、カエルなど、身の回りのものを見る小さな男の子の姿が白い背景に優しいタッチで描かれます。いろいろなものに興味を持ちはじめた赤ちゃんと一緒に読んでください。

もこもこもこ 谷川俊太郎著 元永定正絵 文研出版 29cm 29p 0000226468

色鮮やかな絵に詩人の言葉が添えられ、魅力的ながらもすこし不思議な世界がページをめくるごとに展開していきます。単純な形の絵と「しーん」「もこ」などの短い擬音だけで構成され、読み手ごとに異なる想像の世界が広がります。